

環境デザイン学専攻	研究分野	構造設計学	Lab. ID ED01
研究室Webサイト	http://www.ce.t.kanazawa-u.ac.jp/env_home/lab/lab01.html		
研究課題の概要			
本研究課題では、実際のインフラ構造物を対象としたそれぞれの構造物が有する耐荷性能、疲労性能および使用性能に関する研究を行っており、実構造物での現場実験やそれらをモデル化した室内実験を行っています。実験では、静的載荷実験に加えて、衝撃荷重や移動荷重による動的載荷実験も行っています。さらに、実験データの検証や実現象の分析を行うための汎用ソフトや自作プログラムを用いた数値解析も行っています。			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p><博士前期課程></p> <p>4月に各院生と担当教員で面談を行い、進路相談や研究計画を打ち合わせます。1年時は、通常の授業に加えて、個々の研究課題に対する研究指導を行います。1年終了時に中間審査会が行われ、論文の進捗状況を審査します。2年時は、前半に就職活動を行いながら研究課題を進めます。1月末までに修士論文を完成させるように計画的な研究を行います。</p> <p><博士期課程></p> <p>主任指導教員および共同研究グループと綿密な打ち合わせを重ね、計画的な研究を行います。</p>			
研究室生活の紹介等			
各学生には机とパソコンが与えられ、研究に専念できる環境が整っていますので活用してください。			
教員からのメッセージ			
論文提出までの十分な研究計画を立て、無駄のない研究生活を送ってください。			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	落石洞門用緩衝材に関する研究		
2016.9	Study on structural damage assessment for deteriorated girder using static and dynamic responses (静的および動的応答を用いた劣化桁に対する構造損傷評価に関する研究)		
2015.3	弾性支承を用いた橋梁上を走行する車両荷重の推定に関する研究		
2015.3	ポケット式落石防護網の設計法に関する研究		
2015.3	高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網に関する研究		
2014.3	斜角延長床版化した橋梁から放射される低周波音の音響特性に関する研究		
2014.3	性能照査型設計のための衝撃荷重を受ける骨組構造の動的応答特性に関する基礎的研究		
2014.3	三次元落石シミュレーション手法の構築と落石事例への利用評価に関する研究		
2013.3	カルマンフィルターを用いた橋梁上を走行する大型車両の動的荷重推定に関する研究		
2013.3	ワイヤーロープ式落石防護柵の性能に及ぼす衝突位置の研究		
2013.3	サンドクッションを有する構造物の重錘衝突による弾塑性挙動の評価		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
2016.3	緩衝装置を用いたポケット式落石防護網の防護性能に関する研究		
2013.9	STUDY OF A ROCKFALL PROTECTIVE FENCE BASED ON BOTH EXPERIMENTAL AND NUMERICAL APPROACHES (実験および数値解析に基づいた落石防護柵の研究)		
2013.9	Study on absorbing effect of sand cushion and behavior of rockfall protection fence with sand cushion subjected to impact load (サンドクッションの衝撃緩衝効果とサンドクッションを有する防護柵の衝撃挙動に関する研究)		
2013.9	流動体を介して衝撃的作用を受ける構造物の動的応答解析手法に関する研究		
2013.9	等方弾性体における変位関数の拡張と橋梁床版への応用に関する研究		
2013.3	道路橋周辺で発生した環境振動問題に対する低減対策手法の確立に関する研究		
研究室連絡先メールアドレス	受付担当 深田宰史 <saiji *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		